

団体概要

2021



一般財団法人日本アジア振興財団は、駐日外国公館から支援・後援を受けている財団法人です。

目次

沿革・代表理事のメッセージ

チーム

インターンシップ事業部

国際事業部

他社との連携プロジェクト

メディア取材

01 理念

02

03 役員

04

05 事業の紹介

06

07 カンボジア事業部

08

09 その他の活動

10

11

12 実績





財団の理念

(1)団体理念

国際開発や国際交流に関心の高い、次世代の担い手の育成を推進すること

(2)行動指針

国際社会で通用するキャリアデザインを助長し、アジアにおける国際協力・国際交流を推進します

国際開発や歴史・政治・人材育成について専門的に研究します
活動を通して直面する社会問題の解決に取り組みます



沿革

学生団体として発足

国際交流を目的とした学生団体として発足し、在日本国カンボジア王国観光省・在大阪カンボジア王国名誉領事館・NPO法人カンボジア振興協会の後援により、大学生・大学院生を対象とする東南アジア諸国の短期インターンシップ事業活動を中心に「日本アジア振興財団」として再編

2006年

One World Festival 初出展

(以後毎年出展)

ONE WORLD
FESTIVAL

2011年

法人設立

「一般財団法人日本アジア振興財団」
設立

JAPF
Japan Asia Promotion Foundation

一般財団法人 日本アジア振興財団
Japan Asia Promotion Foundation

2013年

代表理事のメッセージ



一般財団法人日本アジア振興財団
代表理事 松岡 広隆
(元衆議院議員)

一般財団法人日本アジア振興財団（JAPF）を代表致しまして、御挨拶をさせていただきます。JAPFは関西地域をはじめ駐日外国公館のお支えのもと発足しました。

以来、10年にわたり日本とアジアのかけ橋を目的としてタイ・ベトナム・カンボジアを中心としたインターンシップ事業やボランティア団体として国内外における学生の人材育成・人材交流の活動を実施してきました。

世界の海外旅行需要が伸びる中、JAPFは事業拡大に伴い、2015年に国際事業部を立ち上げ、翻訳・通訳、国際人材の派遣、外国語教育などの事業を開始しました。これら事業を通じて訪日外国人旅行者の誘致促進に取り組み、日本国内のグローバル化に向けた積極的な活動を展開しています。我々は世界の多様な文化を総合的に紹介し、文化や言葉を通じて日本と海外間の交流拡大と協力を支援する窓口としての役割を担っています。

また、インバウンドは、日本国の経済成長や雇用の増加に寄与することが期待されていますため、JAPFは、インバウンドの更なる拡大に向けての活動を邁進してまいりたいと考えております。

未来に向けて皆様と一緒に幅広い活動をしていきたいと思っておりますので、より一層の御支援を賜りますように心よりお願いを申し上げます。

「フィリピン チャレンジプロジェクト」発足

一般財団法人日本アジア振興財団の栗田英人理事とフィリピン政府観光省のアラチェリ・C・ソリアーノ西日本代表との間で、「フィリピン共和国と日本の学生の交流を行う」という目的のもと「ぼてぢゅう国際交流基金」を発足し、後に「フィリピン チャレンジプロジェクト」を発足

8月：第一回アンコールエンパイア・フル&ハーフマラソン開催（以後毎年開催）

12月：「日韓学生交流会」発足
駐大阪大韓民国総領事館の支援で発足

2006

～

2021

1月：国際事業部 発足

9月：「JapanHelpDesk®」開始
(訪日外国人サポートサービス)



JapanHelpDesk

2014年

2015年

役員

理事

前田 三郎 (株キョードーファクトリー 代表取締役)
栗田 英人 (ぼてぢゅうグループ・株東京フード代表取締役)
中村 瑛祐 (株ジーエスフード代表取締役社長)

評議員

井上 昌也 (株 ナチュラルケア 代表取締役)
平野 耕平 (弁理士・行政書士)

監事

青木 伸文 (公認会計士・税理士)

顧問・アドバイザー

青木 豊彦 (東大阪市モノづくり親善大使/株アオキ会長/ 国立和歌山大学客員教授 / 大阪市立大学客員教授)
米虫 良允 (医学博士)
小野俊介 (弁護士)
若松 直 (第一総合グループ・行政書士)
ブック・チャンティー (JHC副総支配人・山本日本語学校1期生)
張 樹蓉 (神戸大学大学院博士課程医学研究科整形外科所属)



チーム

一般財団法人日本アジア振興財団では、多国籍の若手人材が活躍しています。「語学」プラス専門知識があるという貴重な人材をそろえておりますので、幅広いサービスを提供できます。実績を積んだスタッフによる幅広い分野への対応と、JAPFのグローバルなネットワークや徹底した品質管理で、お客様のグローバル化をサポートします。

約5人の専門スタッフ並びに全国で約50人の学生ボランティアの協力で運営しています。



張 樹蓉
(チョウ ジュヨウ)

アドバイザー
国際事業部、医療分野

- ・ 出身:
中国、上海
- ・ 対応可能言語:
中国語、英語、日本語
- ・ 学歴・経歴:
中国復旦大学医学院卒、
神戸大学大学院博士課程医学研究科
整形外科所属



Daniela Lemmermann
(レンーマン・ダニエラ)

国際室マネージャー

- ・ 出身:
ドイツ、ハンブルグ
- ・ 対応可能言語:
ドイツ語、英語、フランス語、日本語
- ・ 学歴・経歴:
ハンブルグ大学卒、同志社大学留学
翻訳・通訳、外国語講師



相原 光志
(アイハラ コウジ)

18代目学生委員会代表

- ・ 所属大学:
名古屋市立大学
- ・ 挨拶:
私たちJAPF学生会は、参加される方々にこの「原体験」をお届けできるよう、日々丸となって努めてまいります。

事業の紹介

当財団は日本のグローバル化を目指しています。グローバル化の中、コミュニケーション能力と国際的な人材が最も重要だと考えています。



人材派遣

多様な言語能力と異文化理解力を備えた人材の採用ならJAPFにご相談ください。



市場調査

海外進出ご希望の企業様、既に海外に拠点をお持ちの企業様に、現地市場調査に基づく適切なアドバイスやコンサルティングを提供します。



通訳・アテンド

外国から大事なお客様が来日される際は、通訳から観光案内まですべてJAPFのスタッフが対応します。



外国語研修

ご希望の時期や内容でのプログラムを提供致します。英語、中国語、海外のビジネスマナー学習等の様々なプランがあります。



若手人材の育成

JAPFは大学生のインターンシップをサポートすることにより、将来の国際開発を担うグローバルな人材を育成します。

人材派遣事業の紹介

貴社への利点:

1

- A) 派遣社員との外国語によるコミュニケーションは当財団で行います。英語等の外国語が話せるスタッフが貴社に不在でも、契約等の説明や手続きがスムーズに。
- B) 派遣社員は当財団で雇用します。貴社による保険の手続きや在留資格の申請は不要です。
- C) 派遣社員による雇用は貴社での直接雇用と比べ、コストの削減が期待できます。

導入例:

2

- A) 外国語教室、塾、学校等の外国語教師・講師
- B) 社内の国際業務における翻訳や通訳スタッフ
- C) 会社やご家庭の外国語講師や家庭教師

JapanHelpDesk®事業の紹介

2015年10月より、一般財団法人日本アジア振興財団は訪日外国人向けの「JapanHelpDesk」事業を開始致しました。

JapanHelpDesk® (略: JHD) は、訪日外国人の問題対応のためのワンストップサービスです。

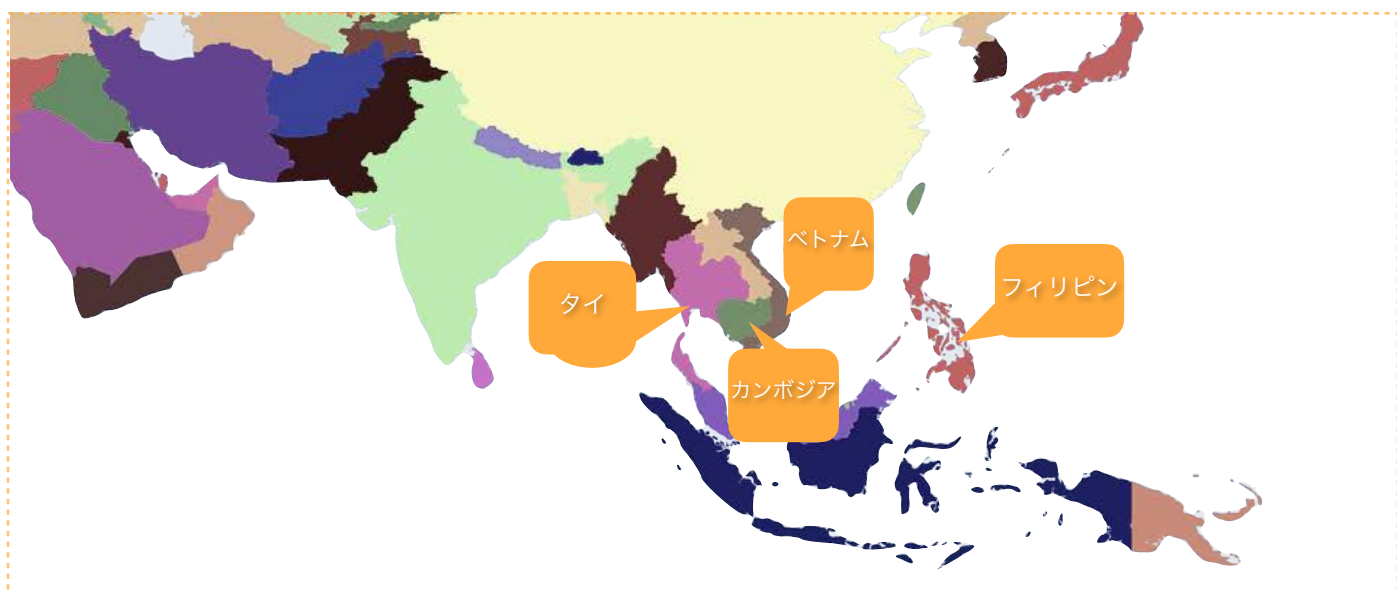
店舗様や企業様等が対象となる法人様向けの「ビジネスプラン」、個人が対象となる観光客様向けの「個別プラン」がございます。

JapanHelpDesk®のオペレーターによる電話での道案内、観光に関する情報提供等、観光客のサポート

サービスを提供しております。また、学生や留学生とともに、JapanHelpDesk®は定期的に観光地に

向かい、ボランティアとして現地で観光案内や外国人のサポートを行っています。

インターンシップ事業部



日本唯一の公的機関後援

後援

JAPFのインターンシップは領事館後援のもとに行われています。公的機関との連携のもと企画されたインターンシップなので、安全性・信頼性が保障されています。

多分野を横断的に研修

多分野

歴史を軸に平和、医療、教育、産業、文化、社会の6分野をフォロー。多角的な視点を持つことで国際社会への理解をより深めることができます。

事前オリエンテーション

フォロー

事前オリエンテーションでは、参加者が現地で安全に行動できるよう充実した研修を行うための情報共有をし、インターンシップへの準備もしっかりサポートします。

現地公的機関の訪問

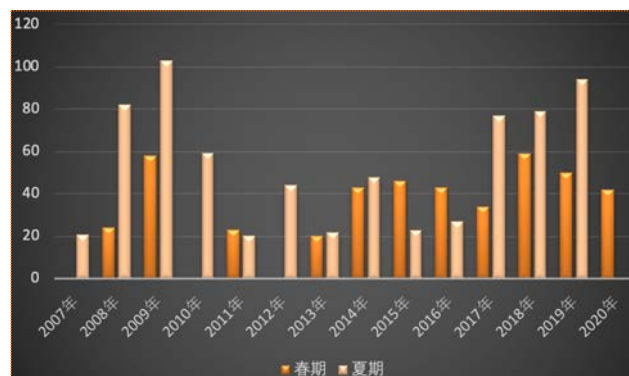
研修機関

後援機関のサポートにより、観光では訪れることのできない現地公的機関や施設を訪問できます。

修了証の発行

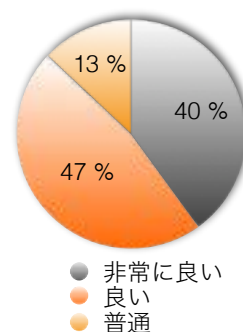
修了証

在大阪カンボジア王国名誉領事館（カンボジアツアー）及びJAPF（フィリピンツアー）より現地調査研修修了証が発行されます。公的機関発行物なので就職活動で履歴書に記載できます。



10年以上の活動で全国から**1000名以上**の大学生がインターンシップに参加しており、参加者の所属大学は**70校**を超えます。研修内容、宿泊施設や食事等に関する総合的なアンケートでも大好評を頂いております。

参加大学の例：北海道大学、早稲田大学、東京外国語大学、神戸大学、京都大学、大阪大学、立命館大学、同志社大学、岡山大学、名古屋大学、北九州市立大学、沖縄国際大学等



OUR INTERNSHIP PROGRAMS

ベトナム・カンボジアインターンシップ型スタディーツアー:

1

NPO、NGOや政府・国際機関の活動を視察することで大学生が国際協力を体験できます。インターンシップでの実践型ワークショップにより、国際協力を五感で体感することができます。東南アジア諸国の人々の暮らしと日本での自身の大学生活を比較することで日々の生活を見つめ直し、自己実現へと繋がります。

フィリピン チャレンジ プロジェクトのスタディーツアー:

2

教育・国際機関・国際ビジネス・社会分野の学習を中心とした「人と人」との交流・研修を行います。現地の国際機関、ホテル・レストランなどのサービス業界、さらにはエンターテインメント業界訪問など、国際ビジネスの第一線を体験できるインターンシップ研修です。現地での英語研修や学生交流も実施し、次世代の国際人を育成することを目的とします。

カンボジア事業部

JAPFは在日本国カンボジア王国オリンピック委員会（日本オフィス）を運営しています。2021年の東京オリンピック開催に向けて、オリンピックをカンボジアで周知させ、オリンピック及びスポーツへの意識を高めてもらうべく発足しました。

「観るスポーツ」から「参加するスポーツ」へと意識改革することにより、観るだけに尽きない感動を共有してもらいたいという想いで在日本国カンボジア王国オリンピック委員会は活動しています。2014年8月17日（日）、カンボジアにおいて障がい者および病院の支援を目的としたチャリティレースである第1回アンコールエンパイア・フル&ハーフマラソンが開催されました。日本側の企画を当委員会が担いました。以後も毎年マラソンの運営協力をしております。



JAPFは在日本国カンボジア王国観光省のホームページを運営しています。

カンボジア観光省のホームページで、カンボジア観光に関する情報、カンボジアのニュースまたはイベント情報などを発信し、観光省のおすすめツアーの販売などを行っています。

News

カンボジア観光についての最新のニュースを届けています。

Info

カンボジアの基本情報はこちらで確認できます。その他、現地の観光地や絶品グルメ、イベントの情報も提供しています。

Trip

安全なカンボジア旅行を楽しんで頂ける在日本国カンボジア王国観光省おすすめツアーを販売しています。



国際事業部

国際事業部では主に次の6部門に分かれてサービスを提供しています： 翻訳・通訳/ 訪日外国人のアテンド/ 社内セミナー（英語）/ プライベート語学コース/ 外国人の住まい探しのサポート/ ビザ取得のサポート

設立以降10年余りの間、日本国内において、学生と外国人支援の現場で経験を重ねてきました。私達の活動は外務省、大使館・領事館など様々な国際機関の支援・後援を受けています。

より良い安全なコミュニケーション

国際事業部メンバーのすべての経験を活かして、海外と日本のパートナーズが円滑に進むように環境づくりに励んでいます。



翻訳・通訳業務 / アテンド業務 (観光&ビジネス)

マルチリンガルスタッフが様々な現場で必要に応じた言語を提供します。翻訳実績として、ビジネス、食事、医薬、化学繊維、文化、宗教などの分野があります。スタッフはイベントや会合での通訳経験もあり、滞日中のお客様を安全・快適に過ごして頂けるようサポート致します。



社内（外国語）教育業務

外国語教師の認定を受けたスタッフが在職しています。会社、個人、子供向けのコースやセミナーを提供しています。英語以外の言語についても対応可能です。



国際人材の人材派遣業務

会社のニーズに合わせて国際的な人材の募集を行います。外国人スタッフの就業に必要な法的手続きを行います。



コンサルティング業務

海外のいかなる国での事業拡大や新事業展開においても、スタッフが一丸となってサポート致します。



在日外国人支援業務

外国人居住者が日本滞在時に直面する問題を熟知しています。経験に基づき日本に住む外国人の様々な問題解決をサポートします。



国内・海外調査業務

私達は国内外の様々なビジネス分野に対し調査を実施する知識とツールを持っています。

その他の活動

日本アジア振興財団の学生委員会や全国の大使館・総領事館などの国際機関と協力しながら、国際的な精神を広めるために国際的行事やセミナーなど開催しています。また国際的なイベントにも積極的に参加しています。



写真展

学生委員会が開いた写真展では、カンボジアの人々の写真を展示し、HIVや貧困などの問題について学生たちが現地で感じたことを紹介しました。

「海外インターンシップの中で、実際にカンボジアの孤児院や地雷博物館、ゴミ山、HIV病棟を訪れ、現地の人々と話をしました。カンボジアで待っていたのは、子どもたちの眩しい笑顔でした。しかし、地雷、HIV、貧困などの問題も持っていました。これらの問題はカンボジアで起きた過去の内戦から10年あまり経過した今もなお影響しています。」とある学生がコメントします。

この展示を通し、「戦争がないからといって平和と言えるのか」という問題提起を行うと共に、現地で暮らすカンボジアの子どもたちの明るい笑顔も伝えました。

【第一回】

2008年12月8日－12月12日 同志社大学

【第二回】

2010年3月9日－3月31日 立命館大学国際平和ミュージアム

沖縄「はばたくウチナアンチュ応援事業」インターンシップ

2016年9月6日(火)から2016年9月10日(土)までの6日間、JAPFは沖縄の平成28年度大学生等県外就職チャレンジプログラム（はばたくウチナアンチュ応援事業）のインターンシップ生を受け入れました。

【事業目的】

県内大学生、短期大学生、専門学校生、高等専門学校生及び卒業後3年以内未就職者に対し、低年次から県外就職を視野に入れた意識啓発を図るとともに、県外企業へのインターンシップ派遣、県外就職活動時の支援まで一貫して行うことで、県外も含めた就業機会を自ら獲得するチャレンジ精神の涵養、就職内定率の向上、学卒無業者の減少及び若年者完全失業率の改善を図る。

【事業概要】

主に大学2～3年生、短期大学・専門学校1年生、高等専門学校4年生を対象とした、県外企業へのインターンシップ派遣。



ONE WORLD FESTIVALやその他の国際協力イベントに出展

2011年から毎年大阪で開催されており、来場者が約17,000人の大イベントに出展しました。団体紹介のブースにおいて来場された方々に活動を伝え、国際協力のワークショップを開催しご好評を頂きました。

JAPF学生委員会が作る、国際協力をテーマとしたフリーペーパー『POSTMAN』を通して支援物資を集め、子どもから大人まで様々な人々に活動を伝えました。学生スタッフが東南アジアの研修中の様子などをパネルや写真を用いながら説明しました。

他社との連携プロジェクト

日本アジア振興財団ではより幅広い活動を目指して、一般企業や様々な団体と協力し、連携プロジェクトとして積極的に国際協力の活動に取り込んでいます。

駐大阪大韓民国総領事館 X 日本アジア振興財団

日韓学生交流会発足

2014年12月6日（土）、日韓学生交流会の発足式を行いました。駐大阪大韓民国総領事館のご支援を頂き、一般財団法人日本アジア振興財団と一般社団法人全国学生連携機構が協力し、日韓学生交流会を発足させ、その記念として発足式典を開きました。

約100名の日韓大学生・高校生が集まり、これからの日韓関係の将来を語り合いました。韓国の総領事のお話や日韓の研修を行う教授の講演後は、韓国人、日本人、在日韓国人の学生同士の話し合いが行われ、会場がとても盛り上がりました。ディスカッションの後には、韓国料理が楽しめる大交流会が行われました。



株式会社シャリオン X 日本アジア振興財団

カンボジア孤児院で「はみがき講座」

カンボジアは虫歯が多い国と言われています。その原因はハミガキ習慣の欠如。歯を磨く習慣がないのでその環境で育った子どもも歯を磨くことがありません。そこで日本アジア振興財団の学生委員会は株式会社シャリオンの協力で現地の子供たちに歯の大切さや「予防」を行うことの大切さを、実際に歯磨きをしながら子供たちに伝える企画を実地しました。

【第一回】

実施日時：2020年2月22日（土）

対象：CCH孤児院の子供約50名（平均年齢8歳）

【第二回】

実施日時：2020年3月4日（水）12:00

対象：リリーフセンター孤児院の子供約30名（平均年齢10歳）



メディア取材

これまでの活動はたびたびメディアでも取り上げられています。

①

2020年
をめぐに「留
学受け入れ」
をめざして

朝 駭

30万+を目標
指す文科省や
外務省は、留
学生在が卒業後も国内に一定
定着して活動する環境を整備に余念なし。来月3、4日は留学生入国も対象にした企業説明会の大阪市レベル化を経済のクロコバール化を踏まえた海外人材の確保策だが、必要なのは草の根の活動だ

◆知り合いの有無で不安はひき連つとば日本アジア振興財団代表理事の松岡功隆さんだ。留学を円滑にする制度をつくらざるを得ない。母国を離れる生活不安は付き物。その際、知合いがいれば安心といふわけだ◆財団は現在、日本人学生とアジアの国々にインターンシップ派遣する事業を展開中。そこで出会った現地の学生が、日本留学を希望したら◆「知り合い」に成り得ると松岡さんは説く◆

日本にとってとしてはカン・ベトナムと安南設立60周年の節目でもある。アジア諸国連合(ASEAN)との間、高まる友邦の経済成長にたいに日本が好ムドをいかにできるか◆東京都では来月開かれる日ASEAN特別首脳会議に先駆けASEANの各国を歴訪した安倍晋三首相首脳に誠意はほめられぬ。国際交流に誠意は欠かせない。(深)

日本とASEANの懸け橋をつくりたい



かわさきあい か
川崎愛華さん(21)

元が、一般財団法人への移行を決定した。任意組合としては大学別活動ではあるが、大学別単位として扱われるのが問題で、それが認められれば、新たな大学法人の人格を認めると、各大学もその趣意に賛同し、取組めるのではないか、という。
 日本・E・A・E友好年40周年、日本・ベトナム友好年40周年、日本・ボリネオ友好年40周年、この年の年の交節期に文化に感銘を受けた、具体的な活用が期待される。分、関係した、各大学も協力し、より多くの学生を支援した」と感謝する。
 卒業後は、日本・ASEANを起点とする関係の仕事に就くのが望みだ。
 (記者 眞木 太郎)
 平成4年、京都府生まれ、宮内府内小・中学校・高等学校、立命館大学入学生。年間の活動を通じて、日本・ASEAN友好年40周年、日本・ボリネオ友好年40周年、日本・ベトナム友好年40周年の交節期に文化に感銘を受けた、具体的な活用が期待される。分、関係した、各大学も協力し、より多くの学生を支援した」と感謝する。
 卒業後は、日本・ASEANを起点とする関係の仕事に就くのが望みだ。
 (記者 眞木 太郎)

国際的な人材育成へ



日本アジア振興財団 設立式典で決意

式典で決意
テル日航大で開かれ
た。代表理事が就任し
たのは衆議院の松岡広
隆氏に「未来にむけ
る活動をアゲたい」
と、この活動方針を
示した。

日本がカンボジアと
国交樹立して30周年、
ベトナムとは周年の
節目を迎え、従来の任
意団体から一般財団法
人へ再編、役員として
大日本政教会、山王主
名譽親善の山王英男氏

日本アジア振興財団の
設立を妨つて出席者
の16日後、大坂市中
央区のホテル日航大坂

が顧問に就
く学生をカ
ベトナム、
アジア地域
のNPOに
てのインタ
（就業体験
将来の国際
グローバル
成していく
式典に出
省の小島敏
大使は、安
の東南アジ
（ASEA）
言及し「日
がASEA
方面で民間
は活躍した
歩を遂げた
の留学生も
際交流への
にしていた

不幸な歴史、繰り返さぬよう
日韓学生交流会が発足



料理囲み意見交わす

[illegible]

青鉛筆

▽政治や経済の
関係が難しいから
こそ、理解を深め
ることができれば

―。日本と韓国の大学生ら約90人が6日、大阪市内で交流会を立ち上げた。



国の古代史や生活文化を学んだ後、多彩な種類の韓国料理を囲んだ。
 ▼お酒やお茶を入れた紙コップを持ち、韓国語で乾杯のかけ声を意味する「ウィハヨ!」。「恋愛のよう」に友だちから「一緒に手巻きすしを作る人もいた。

ワンストップで サポート
一般財団法人日本アジア振興
財団(JAPE) ☎ 06-6351-6855 は、



一般財団法人日本アジア振興財団(JAIF, ☎06-6351-6855)は、アジア・欧州出身の若手スタッフが通訳・翻訳業務など中小企業のグローバル化をワンストップでサポートする。

2013年に設立。日本とアジア地域諸国、その他諸外国との間に人材交流や人材派遣を行い、国際社会の発展や人材育成に寄与することを目的としている。

**一般財団法人
日本アジア振興財団**

日本の青少年を海外に派遣するインターンシップ事業に続く、2つ目の柱として昨年から力を入れているのが国際事業。「日本企業の国際化が目覚ましく進んでいます。スタッフの若い外国人を活用して企業の海外展開を支援します」とドイツ出身のメンバー・ダニエラさん。

ハンブルク大学卒、同志社大学留学、日本の国際特許・弁理士事務所で通訳・翻訳業務にたずさわり、日本語も堪能。同財

のほか、英国、カナダ、スペイン、中国、韓国など約10人の外国人スタッフが存在している。

中が企業の通訳、アシデント、翻訳のほか、海外ビジネスマ
ーが学べる社内教育にも取り組む。「現地と日本の文化が理
できているスタッフですから適切なアドバイスができます」と。
通訳は平日3時間以内で2万5000円、アシデントは平日
で2万円から。通訳は和文英訳(400字)1500円とリーズ
ナル料金。全国の店舗向け電話通訳サービスも行う。

① 2013年11月23日、大阪日日新聞

② 2013年11月17日、大阪日日新聞

③ 2013年12月10日、經濟新聞

④ 2014年12月16日、大阪日日新聞

⑤ 2014年12月7日、朝日新聞

⑥ 2016年8月、日本一明るい経済新聞

実績

我々は目的に向かって日々懸命に取り組んでいます。

国際事業部

国際事業部は多岐に渡り活動しています。

- 1) 翻訳実績：
ぼてぢゅうグループ様（メニュー、マニュアル及びレシピの翻訳、海外パートナーと代理でのやりとり、英語での商品紹介書類作成）、奥田真珠貿易株式会社様（商品のパンフレットの翻訳）等
- 2) 通訳実績：
在大阪・神戸米国総領事館様（ポール・マッカートニー様のコンサートの際の総領事一家の通訳）、京都ヒストリカ国際映画祭（外国人来賓のアテンド・通訳）等
- 3) アテンド実績：
在大阪カンボジア名誉領事館様（カンボジア国会議員の御子息とタイ元首相のご令嬢のアテンド）等
- 4) 社内教育実績：
MK西日本グループ様（英会話ドライバーの研修）、デザイン本会社のOJT英語研修等
- 5) 家庭教師の派遣実績：
関西地方の幼稚園・小学校・中学生の子供が中心となる家庭教師の派遣
- 6) 人材派遣実績：
通訳・翻訳スタッフの派遣、英語のネイティブ講師の派遣等
- 7) コンサルティング実績：
ドイツの大手化学繊維会社様（市場調査）、東京フード株式会社様（東南アジアに関する現地調査）

インターンシップ事業部

10年間以上の活動で、延べ1140人の大学生・大学院生・専門学校生にご参加を頂きました。北海道から沖縄まで、全国の学生に大変満足して頂いております。

カンボジア・オリンピック事業部

2014年から毎年2回カンボジア王国にてマラソン及びハーフマラソンの2つのマラソン大会を開催・運営しています。ハーフマラソンコースは世界で一番美しいコースの一つにランクインしています。両大会とも、参加者数は毎年増加し、今では3,000人の参加者を超える大イベントとなっています。

その他の実績

- 1) 2013年以来「カンボジアネットワーク関西」に毎年参加
- 2) 2015年10月以来、JapanHelpDesk®インターンシップ兼観光案内ボランティア活動毎月実行
- 3) 学生委員会による東南アジアに関する教育活動（高等学校での講義等）
- 4) 沖縄県商工労働部雇用政策課の大学生等県外就職チャレンジプログラムのインターン生受入れ



Our highest aim is to deliver a quality that satisfies our customers. Please let us know if you have any wishes or comments.

連絡先



一般財団法人日本アジア振興財団



[大阪事務所]

〒530-0041

大阪府大阪市北区天神橋2-5-25 若杉グランドビル 本館3F

[東京連絡事務所]

〒150-0043

東京都新宿区西新宿8-14-24 西新宿KFビル5階
(在日本国カンボジア王国観光省内)



TEL: 06-6351-6855

FAX 06-6484-9422



info@japf.or.jp

海外連絡事務所

[バンコク連絡事務所 (タイ)]

94/20(Room302) Floor 3

Ratchada City Condo Pracharachbumpen Road(Soi 7)

Huay-Kwang, Huay-Kwang Distric, Bangkok 10310 Thailand

[ホーチミン連絡事務所 (ベトナム)]

67 Quan Su Street, District 11, Ho Chi Minh city, Vietnam

[シェムリアップ連絡事務所 (カンボジア)]

Phoum Krous Village, Svay Dang Kum Commune,
Siem Reap District & Province, Kingdom of Cambodia.

[プノンペン連絡事務所 (カンボジア)]

73EO, 126Rd., Shagkat Phsar Thmey, Khan Doun Penh,
Phnom Penh, Kingdom of Cambodia.

WEB & SNS



公式: <http://japf.or.jp>

国際事業部: <http://japfkokusai.jp>

JapanAsiaPromotionFoundation

@japfjapf

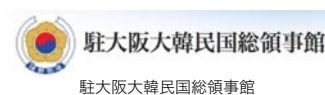
@japfjapf



一般財団法人 日本アジア振興財団
Japan Asia Promotion Foundation

Incorporated Foundation
Japan Asia Promotion Foundation

CORPORATE PROFILE



一般財団法人日本アジア振興財団は、上記の駐日外国公館から支援・後援を受けている財団法人です。